

人種と民族に関する任意の自己確認

2025年1月に始まる新しい手順であり、その手順では納税者が個人所得税の確定申告を行う際に自分の人種と民族に関する情報をOregon Department of Revenue（OREGON税務局）に提供することを選択できます。

それはなんですか？

自己確認とは、納税者が個人所得税の確定申告を行う際に自分の人種と民族に関する情報をOregon Department of Revenueに提供する時を指します。

その情報を提供するために、納税者はOregon所得税確定申告書に含まれている別の様式を使用します。確定申告をする必要がない人々はRevenue Onlineで別の様式を使用して申告することができます。

なぜそれを聞きますか？

あなたの人種と民族に関する回答は州の経済学者や研究者が税制における不公正を分析するのに役立ちます。彼らの研究は現在と今後の税制に関する対話に情報を提供します。

Oregon全体にわたる納税者の参加が重要です。人種と民族に関する情報を共有することを選択をする納税者が多いほど、研究のデータはより正確になります。

あなたが決めることです。

人種と民族に関する質問に答えるかどうかはあなたが決めれば良いです。この様式は任意様式です。人種と民族に関する質問に回答を提供する必要はありません。

Oregon Department of RevenueはあなたとOregon州の住民の皆様により良いサービスを提供できるように、あなたがこれらの質問に答えることを願っています。

私のプライバシーはどう保護されますか？

私たちは皆様が安心して人種と民族に関する質問に回答することを望んでいます。あなたの情報は厳重に秘密として保護されます。

私たちはあなたの情報を守り、権限のある個人のみがその情報にアクセスできます。あなたの情報はその他の目的には一切利用しません。あなたの人種と民族に関する情報は氏名、住所、電話番号などの個人識別情報は含めません。

税務専門家や税務ソフトウェア会社はあなたの情報をあなたの確定申告を手伝う目的以外にはあなたの情報を使用しません。

私たちはあなたの情報を国税庁（Internal Revenue Service、IRS）と共有しません。

この文書はその他の言語、点字、またはお好みの形式で無料で入手できます。ご希望の方はdor.comms@dor.oregon.govまでご連絡ください。